

第3回本耶馬溪作業部会議事録

開催日時: 令和8年9月11日 10時～11時30分

開催場所: 本耶馬溪支所公民館 大会議室

参加者

グループ	A	B	C	D	E
人数	4名	4名	4名	3名	4名

- 第4次中津市福祉計画の振り返りと第5次中津市福祉計画について

中津市より第4次中津市福祉計画の事業実施状況と第5次中津市福祉計画の策定について説明が行われた。

- 校区の第4次福祉活動計画の振り返り

校区の第4次福祉活動計画の活動内容について、「地区全体でできている」、「地区の一部でできている」、「まだ進んでいない」の3段階の評価でそれぞれ個人の意見を聞き取り、グループで評価を検討した。

2つのグループで評価が別れたものについて、いくつか意見を交換した。

- 第5次福祉活動計画に向けて重要だと思う事項を選定する

第4次福祉活動計画の活動内容の中で、第5次でも引き続き取り組むべき課題を1つ個人で選んでもらい、その項目に赤いシールを張ってもらった。

結果、1番多くシールを集めたのが「ふれ愛ネットワークの見守り活動をさらに充実させる」次いで「指導者(後継者)の育成」「地域行事等を活用し、互いの様子を確認し、地域の情報共有をする」「若い世代も参加しやすい地域行事等の工夫を行う」「誰でも参加しやすい楽しめる内容を盛り込む」「行きたいところに行ける取り組みを行う」「回覧板等の手渡しを行い、訪問時にお互いが気にかかけあう」についても関心が寄せられた。

続いて、第2回作業部会で分類された事項の中で3つ、重要だと思うことを選んでもらい、その中から特に重要なものに赤のシールを、重要なものには青いシールを、それぞれ貼ってもらった。

特に多くの関心が寄せられたものとして

- ①「つながり支え合いのあるまち」の中の「地域のつながり」「交流」
- ②「安心・安全のあるまち」の中の「減災」「高齢者の見守り」
- ④「地域が元気になるまち」の中の「子どもと学校」「若者の定住」「地域資源・既存資源の活用」についてそれぞれ4名以上から票を集めた。

